

授業科目	*健康教育論				実務家教員担当科目	○					
単位	1	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	鹿毛 美香										
授業概要	保健師として労働者や住民に健康教育を行ってきた教員が担当し、その実務経験より得た知識、技術等を活かして、教授する。現在の医療体制は、病院完結型医療から地域包括医療へと大きくシフトしており、看護職には、地域での健康づくり・疾病予防をはじめ医療機関おける外来、入退院後の生活を見据えた教育的な支援役割が期待されている。そのために、健康教育に関する基本的な知識の修得を通じて、看護の対象である個人よび集団の健康課題に対する具体的な健康教育の実践方法について学習する。講義では、事例を活用し、グループワークを取り入れ展開していく。										
授業形態	講義・グループワーク		授業方法	グループワーク							
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>健康教育に必要な基本的な知識を修得し、授業で提示された事例について、行動変容を促す健康教育方法について検討できる。</p> <p>1. ヘルスプロモーションと健康教育の理念や目的を説明できる。(DP1-2, DP2-1)</p> <p>2. 健康教育に活用できる健康行動理論を説明できる。(DP1-2, DP2-1)</p> <p>3. 人々の健康行動の特性を理解し、対象(個人・集団)の特徴、ニーズに応じた効果的な健康教育の展開方法について説明できる。(DP1-2, DP2-1)</p> <p>4. 課題事例に対し、行動変容を促す健康教育方法について検討し、説明できる。(DP1-2, DP2-1)</p>										
理想的レベル	授業で提示された事例に加えて、類した事象についても応用することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)				備考						
試験											
小テスト	30%										
レポート	50%				8回目授業時にレポート課題を提示						
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物	20%				単元毎のワークシート(調べ学習)内容						
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU11115J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
予習: 単元毎のワークシート学習										4	
復習: 授業内容について理解が不十分な部分の復習											
授業計画											
第1回	<p>健康教育の歴史とヘルスプロモーション(鹿毛)</p> <p>・ヘルスプロモーションの定義および健康教育の考え方について解説する</p>										

第2回	健康教育に必要な理論（1）健康行動理論について（鹿毛） ・健康信念モデル、変化のステージモデル、計画的行動理論などについて活用の仕方を含め解説する。
第3回	健康教育に必要な理論（2）その他の理論（鹿毛） ・ナッジ理論、エンパワメント、自己効力感などについて活用の仕方を含め解説する。
第4回	健康教育におけるヘルスリテラシーについて（鹿毛） ・ヘルスリテラシーの定義および分類について解説する。
第5回	健康教育の対象と場について（鹿毛） ・人々の発達段階や地域、職場、医療機関等それぞれの施設の特性について解説する。
第6回	保健教育の方法と教材（媒体） ・学習方法のタイプや対象規模別の教育方法、教材（媒体）の種類や特徴について解説する。
第7回	健康教育計画の企画、実施と評価（鹿毛） ・健康教育計画の企画、実施、評価の過程について地域、職場、医療機関等それぞれの施設の特性を含め解説する。
第8回	健康教育の動向（鹿毛） ・住民参加、コミュニティ・オーガニゼーションの意義や国際的動向などについて解説する。
テキスト	最新保健学講座 別巻1 健康教育論 メジカルフレンド社
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 第2版 生活習慣病を中心に 医歯薬出版株式会社 医療・保健スタッフのための健康行動理論 実践編 第2版 生活習慣病の予防と治療のために 医歯薬出版株式会社
課題に対するフィードバックの方法	小テストは、採点後に返却します。 予習のためのワークシート（調べ学習）およびレポート(*)は、成績発表後にコメントをつけて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	様々な環境で生活する人々の健康課題をアセスメントする力を要するため、既習教科を復習し臨むこと。 将来、看護職として活動する場合に必要な標準的な事象・事柄を取り上げています。 そのため、人が行動を変えるきっかけに関心を持ち、授業への主体的学習参加を期待します。 予習のためのワークシート（調べ学習）は、「classroom」に掲載します。